

コメと日本農業の行方

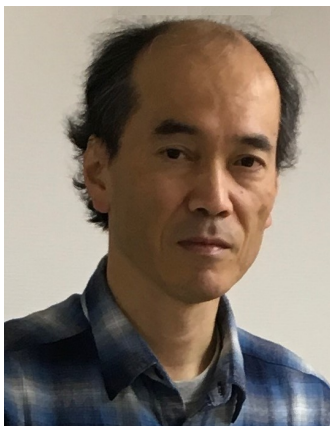
アグリビジネスとどう向き合うか

■講師：印鑰智哉（いんやくともや）さん
食からの情報民主化プロジェクト主宰

■日時：2025年7月12日(土) 13:00～15:30（受付開始 12:30）

■会場：カトリック雪ノ下教会 レベックホール

- ・事前申し込みは不要です。どなたでもご自由に参加できます。
- ・参加費無料 当日自由献金をお願いしております。
- ・駐車場はご利用になれませんので公共交通でお越し下さい。



令和の米騒動の陰で進む農家の疲弊。コメ農家の数は50年間で7割減、コメ生産量は4割減、農家の平均年齢は70歳超え。新規就農は少なく、農村消滅の危機にあります。この現状への政府の対策は水田の集約化・大規模化、AIや人口衛星やドローン導入による省力化・機械化、そしてコメの輸出拡大。このような未来に日本の農業の希望があるのでしょうか？
第三の道筋を考える機会にしましょう！

印鑰智哉さんプロフィール

アジア太平洋資料センター（PARC）、ブラジル社会経済分析研究所（IBASE）、Greenpeace、オルター・トレード・ジャパン政策室室長を経て、現在はOKシードプロジェクト事務局長。2022年から食からの情報民主化プロジェクトを構想・実行中。ドキュメンタリー映画『遺伝子組み換えルーレット』（2015年）、ドキュメンタリー映画『種子ーみんなのもの？ それとも企業の所有物？』（2018年）、共著で『抵抗と創造のアマゾンー持続的な開発と民衆の運動』（現代企画室刊、2017年）、『命を守る食卓』（宝島社2024）。

「キリスト者として平和を学ぶ」第47回勉強会

カトリック雪ノ下教会：鎌倉市小町2-14-4（鎌倉駅東口から徒歩5分）

問い合わせ先：catholic.peace.kamakura@gmail.com



FaceBook